

**平成 28 年度 一般社団法人全国老人給食協力会  
(現 一般社団法人全国食支援活動協力会) 事業報告**

**概 況**

**1 . 高齢者から 多世代・多様な人に対する食支援活動にむけて**

これまで主な対象を高齢者としてきたが、こども世代や社会的に孤立している人など、食支援活動を多様な人々に向けて開いていくニーズが高まってきている。28 年度は二つの事業を実施し、幅広い世代の多様な人々が参加型で関われる食支援活動を展開するための基盤ができた。

**2 . 元気高齢者の社会参加や健康生きがいづくりとしての地域活動の普及啓発**

元気高齢者が自身の健康や生きがいづくりの一環として互助型の介護予防・生活支援サービスに取り組む活動モデルの普及啓発のための調査・研修事業を行った。

**3 . 厚労省による高齢者向け配食サービスのガイドライン作成への対応**

ガイドライン作成のための委員会に参画し、地域の配食活動における栄養管理や食べやすさへの取り組みを整理し、活動が規制されることがないように申し入れを行った。会員団体に対しては機関紙で情報提供を行った。

**法人本部**

**1 . 広報普及活動**

「べんけい草」(127 号~129 号 毎号約 200 部発行)を会員および関係者に郵送  
号外「セミナーもうすぐ号」(7 月 8 日発行)を FAX 送付

公式ホームページ、フェイスブックでの情報提供

「住民主体の生活支援サービスマニュアル 5 巻 食事サービス」を発刊(全社協出版)。

**2 . 研修活動**

「第 19 回 全国食事サービス活動セミナー」開催日:7 月 31 日(日)

会場: ジョンソン・エンド・ジョンソン本社カフェテリア(東京都千代田区)

参加者: 155 名

「第 31 回食事サービスを考えるつどい」開催日:11 月 23 日(祝)

<東京食事サービス連絡会主催事業に共催として参画>

会場: 飯田橋セントラルプラザ(東京都新宿区) 参加者: 72 名

**3 . ネットワーク構築事業**

「ネットワーキング研究会」事務局

新たな社会課題に対応するための活動の充実と担い手の育成をねらい、ネットワーク型の情報共有の機会として 3 回開催。各回 1 泊で各地の市民協働型の取り組みの見学と交流会の企画運営を行った。

7/24 研究会 in 長久手 参加 26 名。世話人:長久手市役所 中野氏

9/10 研究会 in 近江八幡 参加 15 名。世話人:しみんふくし滋賀 成瀬氏

10/16 研究会 in 米沢 参加 15 名。世話人:NPO 法人ゆいのき 井上氏

#### 4. 活動審査・評価等

明治安田生命保険相互会社「地域支え合い活動 助成プログラム」審査 助成事務局を担当、応募 44 団体のうち 11 団体を選出

みずほ教育福祉財団「配食用小型電気自動車寄贈事業」会員に要項配布、2 団体を推薦

#### 5. 制度政策に関する委員会参加、講師派遣

厚生労働省「地域高齢者等の健康支援を推進する配食事業の栄養管理の在り方検討会」委員

農林水産省「新しい介護食品（スマイルケア食）普及推進会議」委員（平野）

全社協等「新地域支援構想会議」（石田・平野）

広がれ！こども食堂の輪 全国ツアー実行委員会 副代表（平野）

講師派遣

- ・地域医療介護総合確保基金による生活支援サービス担い手養成研修へ講師派遣（兵庫県/2月・山梨/3月）
- ・支え合いを拡げる生活支援フォーラム（全社協）
- ・住総研シンポジウム
- ・NPO 法人じゃんけんぼん（高崎市）講演会（福祉医療機構 WAM 助成事業）

#### 6. その他

会員管理

- ・正会員 119（団体正会員 73 個人正会員 40）、賛助会員 6（平成 29 年 3 月時点）
- ・会員データベース作成、利用希望者、活動希望者、各機関への情報提供（承諾分）  
マスコミ等への情報提供

新聞・雑誌の取材、イベント情報記事掲載など

宅配給食用弁当箱（八木熊）と米（大潟村あきたこまち協会）の利用促進

中間支援組織の連携

NPO 法人全国移動サービスネットワーク、認定 NPO 法人市民福祉団体全国協議会、一般社団法人ユニバーサル志縁社会創造センターとの連携強化

## プロジェクト

### 1. 厚生労働省老健局平成 28 年度老人保健健康増進等事業

「生涯現役社会の構築に向けた、高齢者の社会参加や健康生きがいづくりのあり方に関する調査研究事業」

- ・元気高齢者が互助型の介護予防・生活支援サービスの担い手として健康や生きがいづくりの一環としても継続的に取り組むための活動モデルの普及啓発をねらい、調査と研修会を実施した。

### 2. 多世代が集う「共食・共生のつながりの場」促進プロジェクト（JJCC 助成プログラム）

- ・少子高齢社会における支え合いの地域づくりを目標とした世代を超えた「共に食べる参加型の場」を推進するために調査と好事例を取り上げた活動カタログを制作した。

### 3. 中央共同募金会赤い羽根福祉基金

「広がれ、こども食堂の輪！全国ツアー開催支援およびネットワーク推進事業」

- ・47 都道府県の賛同した団体により実施する「広がれ、こども食堂の輪！全国ツアー開催支援と、各地のネットワーク強化・取り組みの活発化のための冊子作成を行った。

## 受託事業

### 1. 愛知県長久手市アドバイザー業務受託事業

生活支援体制整備事業におけるアドバイザー業務を行った。

- ・関係所管との連絡調整
- ・協議体運営におけるアドバイザー業務
- ・事例視察企画運営
- ・関係所管向け研修会の実施

## 貸借対照表

2017年 3月31日 現在

一般社団法人 全国老人給食協力会

(単位： 円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【流動資産】</b>	15,405,896	<b>【流動負債】</b>	6,019,704
現金・預金	11,305,896	未払金	5,293,611
未収入金	4,100,000	預り金	26,093
		仮受金	700,000
		負債の部合計	6,019,704
		純資産の部	
		<b>【次期繰越金】</b>	9,386,192
		当期末処分利益	9,386,192
		その他利益剰余金	9,386,192
		繰越利益剰余金	9,386,192
		(うち当期純利益金額)	3,826,774
		純資産の部合計	9,386,192
資産の部合計	15,405,896	負債及び純資産合計	15,405,896

## 損益計算書

自 2016年 4月 1日  
至 2017年 3月31日

一般社団法人 全国老人給食協力会

(単位： 円)

科 目	金 額	
<b>【活動収益】</b>		
助 成 金	10,657,200	
セ ミ ナ ー 収 入	596,000	
調 査 研 究 事 業 補 助 金	4,139,000	
監 修 協 力 費	243,955	
委 託 料	7,000,000	
売 上 高 合 計		22,636,155
売 上 総 利 益 金 額		22,636,155
<b>【活動運営費】</b>		
活動費及び一般管理費合計		19,977,106
営 業 利 益 金 額		2,659,049
<b>【活動外収益】</b>		
年 会 費	810,000	
寄 付	39,750	
雑 収 入	386,270	
受 取 利 息	60	
事 業 外 収 益 合 計		1,236,080
<b>【活動外費用】</b>		
支 払 手 数 料	68,355	
営 業 外 費 用 合 計		68,355
経 常 利 益 金 額		3,826,774
税 引 前 当 期 純 利 益 金 額		3,826,774
当 期 純 利 益 金 額		3,826,774

一般管理費内訳書

自 2016年 4月 1日  
至 2017年 3月31日

一般社団法人 全国老人給食協会

(単位： 円)

科 目	金 額
事 務 局 費	4,249,815
会 議 費	867,205
通 信 費	980,685
函 書 等 購 入 費	6,400
旅 費 交 通 費	4,637,004
委 員 会 旅 費	937,907
消 耗 品 費	289,403
印 刷 製 本 費	5,251,415
賃 借 料	437,652
諸 謝 金	404,700
会 場 運 営 費	157,665
広 報 費	500,244
報 酬 費	1,004,423
雑 費	252,588
活動費及び一般管理費合計	19,977,106

平成28(2016)年度 一般社団法人全国老人給食協力会 収支計算書

収入の部			支出の部			
科 目	当初予算 金額	決算 金額	科 目	当初予算 金額	決算 金額	決算 金額
27 (2015) 年度繰越金	5,559,418	5,559,418				
			本部運営費	3,060,000		3,464,520
本部			事務委託費	2,000,000	2,000,000	
会費	900,000	810,000	通信費	200,000	191,935	
寄付	150,000	39,750	会議費	80,000	199,726	
販売手数料	200,000	250,200	旅費交通費	450,000	374,659	
雑収入	85,000	386,330	消耗品費	100,000	3,108	
監修協力費	0	243,955	資料費	30,000	0	
			web関連費	50,000	14,040	
事業収入			交際費	50,000	0	
セミナー参加費収入	385,000	596,000	雑費	100,000	151,052	
受託事業収入	6,900,000	7,000,000	報酬	0	530,000	
補助金事業収入	4,599,036	4,139,000				
プロジェクト助成収入	1,707,000	1,707,000	研修事業 (セミナー)	680,000		500,115
赤い羽根福祉基金助成	0	8,700,000	諸謝金	150,000	115,000	
			旅費交通費	200,000	77,580	
			会場費	100,000	157,665	
			印刷製本費	100,000	118,730	
			通信運搬費	100,000	19,336	
			会議費	30,000	11,804	
			多世代共食プロジェクト	1,707,000		1,834,117
			旅費交通費	879,000	608,387	
			印刷製本費	224,000	590,587	
			会場費	20,000	31,428	
			通信運搬費	424,000	203,146	
			諸謝金	160,000	150,000	
			雑費		250,569	
			厚労省老健事業補助金	4,599,036		4,208,343
			人件費	704,000	589,600	
			旅費	1,559,800	1,910,272	
			事務消耗品費	30,776	24,289	
			印刷製本費	380,160	588,918	
			諸謝金	1,120,000	514,500	
			会場費	240,000	437,652	
			通信運搬費	326,800	53,500	
			会議費	37,500	89,612	
			雑役務費	200,000		
			こども食堂全国ツアー支援 (赤い羽根福祉基金助)			8,701,112
			事務局賃金	2,108,000	1,660,215	
			広報費	401,840	486,204	
			消耗品費	253,160	121,132	
			印刷製本費	2,214,000	1,941,624	
			通信運搬費	360,000	532,104	
			諸謝金	1,026,000	0	
			テキスト編集作成費	0	2,036,880	
			会議室借料	300,000	256,050	
			旅費	2,037,000	1,666,903	
			受託事業 (協議体形成)	5,180,000		1,337,254
			リーダー研修		278,585	
			先進地見学		121,559	
			旅費		937,110	
			予備費	5,259,418		9,386,192
	20,485,454	29,431,653		20,485,454		29,431,653

# 監事監査報告書

平成29年5月18日

一般社団法人全国老人給食協力会  
代表理事 石田惇子 殿

監事

鶴澤 章

監事

中島 裕

私たちは、一般社団法人全国老人給食協力会の平成28年4月1日から平成29年3月31日までの事業年度における理事の業務執行の状況及び財産の状況について監査をいたしました。その結果につき以下の通り報告いたします。

## 監査の方法の概要

私たちは理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を開覧し、業務及び財産の状況を調査し、事業の報告を求めました。また、会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち、資金収支計算書（資金収支決算内訳表を含む）、事業活動収支計算書（事業活動収支内訳表を含む）、貸借対照表および財産目録につき検討いたしました。

## 監査の結果

- (1) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (2) 計算書類は、法令及び定款に従い、収支及び事業活動の状況並びに財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 事業報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不整の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

以上

# 平成 29 年度 一般社団法人全国食支援活動協力会 事業報告

## 概 況

### 1. 多世代・多様なニーズを持つ人を対象とした団体へのテーマ変更と事務局強化

28 年度から行ってきた幅広い世代を対象とした活動支援の展開を基盤とし、6 月に旧名称「全国老人給食協力会」から「全国食支援活動協力会」へ変更、それに伴いパンフレット・ホームページ・機関紙等を一新した。従来の活動に加え「子どもの食」に関する新たな取り組みが始まり、スタッフを増員し事務局体制を強化した。

### 2. 食をテーマにした関係団体のネットワークを各地に作る「食でつながるフェスタ」の展開

食をテーマにした活動団体・行政・社協・ボランティアセンター・施設などの関係者がつながる場をつくり、活動の進展と新しい活動の創出をめざしていく「食でつながるフェスタ」を香川・大阪・山梨で開催し、関係者連携と活動の創出に向けての成果を得た。30 年度も引き続き全国各地 8 か所での開催を目指す。

### 3. 助成プログラムと活動支援の拡大

これまで中心となっていた高齢者に向けた活動への支援に加え、子どもの食の居場所に対する活動支援に関わり、事務局として団体の困りごとや必要な支援についての声を聞いた。子ども食堂支援に関心がある企業や財団に働きかけて活動助成やノウハウ提供など個別支援のしくみをつくり、活動と結びつける中間支援の基盤ができた。活動ガイド「広がれ、こども食堂の輪！活動ガイドブック 地域とのつながりづくり編」と、子ども食堂における衛生や食育のマニュアル「こども食堂あんしん手帖」の編集・発刊を行った。（「あんしん手帖」は 30 年 6 月発刊予定）。

## I 法人本部

### 1. 団体名称変更とそれに伴うパンフレット、ホームページ他の改訂

29 年 6 月 12 日付で団体名を全国老人給食協力会から「全国食支援活動協力会」へ変更、パンフレット、ホームページ、機関紙を改訂。

### 2. 広報普及活動

- ①「べんけい草」130 号、「いただきます」(number1-4) を会員および関係者に郵送
- ②公式ホームページ、フェイスブックでの情報提供

### 3. 研修活動

- ①「第 20 回 全国食事サービス活動セミナー」開催日：7 月 23 日（日）  
会場：ジョンソン・エンド・ジョンソン本社カフェテリア（東京都千代田区）  
参加者：120 名  
内容：
  - 1. 高齢者の栄養問題・最新の動向

「配食サービス栄養施策の考え方」「配食事業の栄養管理ガイドラインについて」

2. 食を通じた参加の場づくり

「農業・福祉・学び」「子ども食堂」

3. 我が事丸ごと共生社会の施策動向、グループワーク

②「地域の居場所づくりサミット」開催日 10月2日(月)

会場：キューピー本社ホール 参加者 92名

(みらいたまご財団第一回助成授与式の後に開催)

内容：

1. 地域のさまざまな食支援活動

2. 先駆者事例 (だんだんワンコイン子ども食堂)

3. パネルトーク

③「第31回食事サービスを考えるつどい」開催日：11月23日(木・祝)

会場：飯田橋セントラルプラザ 参加者：70名

(東京食事サービス連絡会主催事業に共催として参画)

内容：

1. 食を通じた多様な居場所づくり

「ふれあい会食会」「多世代に向けた取り組み」

2. 自分たちの活動を理解する

3. グループワーク

「居場所のつくりかた」「調理の工夫」「人への伝え方」「次世代につなげる」

④「支え合いをひろげる住民主体の生活支援フォーラム」 開催日：10月19日(木)

会場：全社協灘尾ホール 参加者：300名

(全国社会福祉協議会主催事業に共催として参画)

#### 4. 活動審査・評価等

①明治安田生命保険相互会社「地域支え合い活動 助成プログラム」審査 助成事務局を担当、応募 50 団体のうち 10 団体を選出

②みずほ教育福祉財団「配食用小型電気自動車寄贈事業」会員に要項配布、2 団体を推薦

③キューピーみらいたまご財団「食を通じた居場所づくり支援」助成事務局業務受託。

2017年度分 応募 61件 12 団体選出

2018年度分 応募 54件 16 団体選出

#### 5. 制度政策に関する委員会参加、講師派遣

①厚生労働省健康局「配食にかかる事業者向け導入支援ツール及び配食利用者向け活用支援ツール作成等に関する有識者会議構成員」(平野)

- ② 全社協等 「新地域支援構想会議」 (石田・平野)
- ③ 「広がれ、こども食堂の輪！」 全国ツアー実行委員会 副代表 (平野)
- ④ 農林水産省 「子供食堂の運営に関する実態調査」 協力
- ⑤ 講師派遣
  - ・ 立教大学コミュニティ福祉学部 「市民活動の組織とマネジメント」 (10月)
  - ・ 生活協同組合パルシステムインフォーマルサービスシンポジウム (1月)
  - ・ 「食を通じた地域の居場所づくりフォーラム in たまな」 (2月)

## 6. その他

- ① 会員管理
  - ・ 正会員 119 (団体正会員 74 個人正会員 39)、賛助会員 3 (平成 29 年 3 月時点)
  - ・ 会員データベース作成、利用希望者、活動希望者、各機関への情報提供 (承諾分)
- ② マスコミ等への情報提供
  - 新聞・雑誌の取材、イベント情報記事掲載など
- ③ 寄付物品の斡旋
  - ・ アサヒ飲料株式会社からの寄付物品を子どもの居場所づくりに取り組む 60 団体に寄贈 (中央共同募金会との連携)
  - ・ 食品リボンセンターから都の防災備蓄食品を東京・神奈川・千葉・埼玉の団体へ斡旋 (東京都環境局モデル事業)
- ④ オーストラリア MOWSA との交流
  - MOWSA 役員のピーター・ニールさん夫妻が来日し 5 月 30 日に活動視察や交流会を通して日豪の情報交換と親睦を図り、今後の活動方針や課題について共有した。

## II プロジェクト

### 1. 多世代が集う「共食・共生のつながりの場」促進プロジェクト (JJCC 助成プログラム)

- ・ 少子高齢社会における支え合いの地域づくりを目標とした世代を超えた「共に食べる参加型の場」推進を目的に、3つの地域で関係団体のネットワークを新たに形成し、「食でつながるフェスタ」と題した研修会を実施した。

- ・ 食でつながるフェスタおおさか

参画団体：社会福祉協議会、食事サービス団体、子育て広場、こども食堂、隣保館、母子生活支援施設他 15 団体

[第 1 弾]

開催日： 11 月 18 日 (土) 参加者：160 名

内容：ポスターセッション、分科会、パネルディスカッション、活動見学会

[第 2 弾]

開催日： 3 月 9 日 (土)、10 (日) 参加者：のべ 109 名

内容：1 日目 支援事例 (鳥取・高知)、パネルディスカッション

## 2日目 講演、事例報告（奈良、大阪）、活動見学会

- ・食でつながるフェスタかがわ

参画団体：社会福祉協議会、子育て広場、こども食堂、県スクールソーシャルワーカー協会、母子生活支援施設他 11 団体

開催日：1月20日（土） 参加者：190名

内容：ポスターセッション、分科会、パネルディスカッション、活動見学会

- ・食でつながるフェスタやまなし

参画団体：社会福祉協議会、食事サービス団体、子育て広場、こども食堂、生協、社会福祉法人他 8 団体

開催日：3月18日（日） 参加者：95名

内容：ポスターセッション、分科会、パネルディスカッション、活動見学会

## 2. 中央共同募金会赤い羽根福祉基金

「広がれ、こども食堂の輪！全国ツアー開催支援およびネットワーク推進事業」

- ・47 都道府県の賛同した団体により実施する「広がれ、こども食堂の輪！全国ツアー開催支援と、継続的なネットワーク支援強化のための推進委員会の開催（東京・石川・広島）、取り組み強化のための冊子作成をおこなった。

全国ツアーは30年3月までに全国39か所で開催され、のべ1万人以上が参加。

## 3. 「こども食堂あんしん手帖」制作プロジェクト

- ・こども食堂における食の安心安全を確保し、持続可能な運営に貢献するため、衛生、食物アレルギー、食育についての基礎知識や取り組み事例を盛り込んだ手引書を制作中。30年6月発刊予定。

## 貸借対照表

2018年 3月31日 現在

一般社団法人 全国食支援活動協力会

(単位： 円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【流動資産】</b>	12,522,076	<b>【流動負債】</b>	4,221,931
現金・預金	9,722,076	未払金	3,913,039
未収入金	2,800,000	預り金	8,892
		仮受金	300,000
		負債の部合計	4,221,931
		純資産の部	
		<b>【次期繰越金】</b>	8,300,145
		当期末処分利益	8,300,145
		その他利益剰余金	8,300,145
		繰越利益剰余金	8,300,145
		(うち当期純損失金額)	1,086,047
		純資産の部合計	8,300,145
資産の部合計	12,522,076	負債及び純資産合計	12,522,076

# 損益計算書

自 2017年 4月 1日  
至 2018年 3月31日

一般社団法人 全国食支援活動協力会

(単位： 円)

科 目	金 額	
<b>【活動収益】</b>		
助 成 金	12,650,000	
セ ミ ナ ー 収 入	483,450	
委 託 料	1,437,000	
売 上 高 合 計		14,570,450
売 上 総 利 益 金 額		14,570,450
<b>【活動運営費】</b>		
活動費及び一般管理費合計		16,756,655
営 業 損 失 金 額		2,186,205
<b>【活動外収益】</b>		
年 会 費	800,000	
雑 収 入	152,980	
受 取 利 息	96	
助 成 金	217,200	
事 業 外 収 益 合 計		1,170,276
<b>【活動外費用】</b>		
支 払 手 数 料	70,118	
営 業 外 費 用 合 計		70,118
経 常 損 失 金 額		1,086,047
税 引 前 当 期 純 損 失 金 額		1,086,047
当 期 純 損 失 金 額		1,086,047

一般管理費内訳書

自 2017年 4月 1日  
至 2018年 3月31日

一般社団法人 全国食支援活動協力会

(単位： 円)

科 目	金 額
事務局 費	5,566,408
会議 費	174,155
通信 費	859,651
図書等購入 費	32,080
旅費交通 費	4,035,096
委員 旅 費	552,082
消耗品 費	460,576
印刷製本 費	3,143,013
交際 費	46,040
貸借 料	487,434
租税公 課	42,100
諸謝 金	445,000
車両 運 費	1,000
会場 運 費	309,870
広報 費	384,466
雑 費	217,684
活動費及び一般管理費合計	16,756,655

平成29年度(2017) 一般社団法人全国食支援活動協力会 収支計算書

収入の部		支出の部		
科目	金額	科目		金額
28年度繰越金	9,386,192	本部運営費		3,381,474
会費	800,000	事務委託費	2,000,000	
セミナー収入	483,450	通信費	162,420	
販売実施料(あきたこまち生産者協)	217,200	会議費	57,477	
キューピーみらいたまご財団受託事業 (食を通じた居場所づくり支援助成事務局)	1,437,000	旅費交通費	417,376	
JJCC助成事業助成金 (共食のつながりの場促進プロジェクト)	2,150,000	消耗品費	208,413	
赤い羽根福祉基金事業助成金 (ひろがれ子ども食堂の輪全国ツアー)	9,500,000	図書等購入費	31,080	
中央共同募金会YAHOO基金助成金 (「子ども食堂あんしん手帖」制作)	1,000,000	web関連費	63,288	
雑収入	152,980	交際費	46,040	
受取利息	96	諸謝金	50,000	
		パンフレット等印刷費	106,896	
		税金	42,100	
		雑費	140,846	
		支払い手数料	55,538	
		全国食事サービス活動セミナー		540,841
		旅費交通費	144,900	
		印刷製本費	136,263	
		諸謝金	110,000	
		会場運営費	147,950	
		雑費	1,728	
		JJCC助成事業(共食のつながりの場促進)		2,249,783
		(1)委員会開催費		
		旅費(委員等)	422882	
		諸謝金	230000	
		会場費	110160	
		(2)従事者養成研修他		
		諸謝金	55000	
		旅費(講師等)	50120	
		旅費(事務局)	689961	
		会場設営運営費	161920	
		宣伝・広報費	312127	
		事務通信費	100935	
		会議費	116678	
		「赤い羽根福祉基金」広がれ子ども食堂の輪ツ		9,531,278
		賃金	2,690,897	
		広報費	9,051	
		消耗品費	253,163	
		印刷製本費	2,899,854	
		通信運搬費	667,346	
		借料	377,274	
		旅費	2,633,693	
		「子ども食堂あんしん手帖」制作		1,123,397
		賃金	875,511	
		旅費取材費	247,886	
		予備費		8,300,145
	25,126,918			25,126,918

# 監事監査報告書

平成30年5月/0日

一般社団法人全国食支援活動協力会  
代表理事 石田惇子 殿

監事

中島輝人

監事

鶴澤

私たちは、一般社団法人全国食支援活動協力会の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの事業年度における理事の業務執行の状況及び財産の状況について監査をいたしました。その結果につき以下の通り報告いたします。

## 監査の方法の概要

私たちは理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査し、事業の報告を求めました。また、会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち、資金収支計算書（資金収支決算内訳表を含む）、事業活動収支計算書（事業活動収支内訳表を含む）、貸借対照表および財産目録につき検討いたしました。

## 監査の結果

- (1) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (2) 計算書類は、法令及び定款に従い、収支及び事業活動の状況並びに財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 事業報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不整の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

以上

# 平成 30 年度 一般社団法人全国食支援活動協力会事業報告

## 概 況

### 1. 食をテーマにした関係団体のネットワークを各地に作る「食でつながるフェスタ」の展開

食をテーマにした活動団体・行政・社協・ボランティアセンター・福祉施設・企業などの関係者がつながる場をつくり、活動の進展と新しい活動の創出をめざしていく「食でつながるフェスタ」を東京・神奈川・山梨・愛知・大阪・熊本・宮崎にて開催し、関係者連携と活動の創出に向けての成果を得た。31 年度も引き続き各地での開催を目指す。

### 2. 担い手養成研修のニーズ増大

各地の都道府県市町村や社会福祉協議会等が主催する研修・講座に対し、カリキュラム提供および講師派遣を行った。

おもな依頼内容は、生活支援体制整備における担い手養成研修、食を通して多世代が支え合う全国での取組みの活動状況や課題についての講義、『こども食堂あんしん手帖』（30 年 8 月発行）を教材に、安心・安全に活動を継続するための講座・グループワーク等であった。多世代・多様なニーズを持つ人を対象とした食支援の担い手養成研修をパッケージ化し、自治体や社会福祉協議会等と連携しながら、活動団体のスキルアップに取り組む体制の基盤づくりとなった。

### 3. 助成プログラムと活動支援の拡大

これまで中心となっていた高齢者に向けた活動への支援に加え、子どもの食の居場所に対する活動支援が関わり、事務局として団体の困りごとや必要な支援についての声を聞いた。子ども食堂支援に関心がある企業や財団に働きかけて活動助成やノウハウ提供など個別支援のしくみをつくり、活動と結びつける中間支援の基盤ができた。

『広がれ、こども食堂の輪！活動ガイドブック 地域とのつながりづくり編』と、子ども食堂における衛生・食物アレルギー・食育についてまとめた手引きとして『こども食堂あんしん手帖』の編集・発刊を行った。

## I 法人本部

### 1. 広報普及活動

- ①「いただきます」(number6、セミナーもうすぐ号)を会員および関係者に郵送
  - ②正会員向け(登録 92) およびこども食堂メール会員(登録 201)へメールニュースを発信(vol.1-7)
  - ③公式ホームページ、フェイスブックでの情報提供
- 全国食支援活動協力会のページに加えて、「広がれ、こども食堂の輪！」推進会議が行うプロジェクトである「こども食堂サポートセンター」のホームページおよびフェイスブックを新たに開設。

### 2. 研修活動

- ①「第 21 回 全国食事サービス活動セミナー」開催日：7 月 29 日（日）  
会場：ジョンソン・エンド・ジョンソン本社カフェテリア（東京都千代田区）

参加者：約 101 名

内容：

1. 高齢者の栄養問題を見つめて  
「地域における食支援のこれから」
2. 施策・先進事例を知る  
「食を通じた居場所・生活支援の取り組み」
3. 活動の輪を広げる・つなぐ 講義とグループワーク

②「地域の居場所づくりサミット」開催日 5月 30日(水)

会場：キューピー株式会社 本社ホール 参加者 約 110 名  
(みらいたまご財団助成事業説明会・活動報告会の後に開催)

内容：

1. 地域でこども食堂が果たす役割を考える (講義)
2. あんしん安全なこども食堂をめざして (講義、先駆事例)

③「地域の居場所づくりサミット in おおさか」開催日 11月 1日 (木)

会場：キューピー株式会社 大阪支社 4階会議室 参加者 約 100 名  
(開会前に個別相談会を実施)

内容：

1. 助成事業説明会・活動報告会 (京都 YWCA、あさひ子ども見守りネットワーク)
2. 食の居場所づくり講座  
課題提起「こども食堂の衛生と食育を考える」、シンポジウム (子育てネットひまわり、子ども居場所まる)

④「第 32 回食事サービスを考えるつどい」開催日：12月 9日 (日)

会場：飯田橋セントラルプラザ 参加者：約 80 名  
(東京食事サービス連絡会主催事業に共催として参画)

内容：

1. 地域とつながる 食と心の栄養
2. リレートーク いろいろな食事サービスを知ろう (実績の長い活動、様々な人が参加できるための工夫、事業としての配食サービス、介護サービス等との連携)
3. これからの食事サービスを考える

④「支え合いをひろげる住民主体の生活支援フォーラム」開催日：10月 23日 (火)

会場：全社協灘尾ホール 参加者：約 300 名  
(全国社会福祉協議会主催事業に共催として参画)

#### 4. 活動審査・評価等

①明治安田生命保険相互会社「地域支え合い活動 助成プログラム」審査 助成事務局を担当、応募 50 団体のうち 12 団体を選出

②みずほ教育福祉財団「配食用小型電気自動車寄贈事業」会員に要項配布、1団体を推薦

③キューピーみらいたまご財団「食を通じた居場所づくり支援」助成事務局業務受託。

2018年度分 応募 54件 16団体選出

2019年度分 応募 143件 27団体選出/スタートアップ助成 20団体選出 (2019年度新設)

## 5. 制度政策に関する委員会参加、講師派遣

①全社協等 「新地域支援構想会議」(石田・平野)

②「広がれ、こども食堂の輪！」全国ツアー実行委員会 副代表 (平野)

③講師派遣

- ・松戸市「まつど地域活躍塾公開講座」(7月) 講義
- ・立教大学コミュニティ福祉学部 藤井教授 (5月)、原田教授 (10月) 講義
- ・山形県生涯学習文化財団「生活支援活動ステップアップ講座」(10月) 講義、グループワーク
- ・千代田区社協「シニアごはんボランティア養成講座」(11月) 講義
- ・全国母子生活支援施設協議会「第62回 全国母子生活支援施設研究大会」(11月) 講義
- ・埼玉県「こども食堂フォーラム」あんしん安全なこども食堂をめざして～衛生管理・食を育む 講義、グループワーク (越谷・11月、川越・1月)
- ・あーすりんく「こどもテーブル&居場所ネットワークフォーラムしぶや」(12月) 講義
- ・香川県社協「第3回 広がれ、こども食堂の輪！全国ツアーinかがわ」(2月) 講義
- ・新潟県社協・湯沢町社協「住民主体の地域づくりセミナー」(3月) 講義、グループワーク

## 6. その他

①会員管理

- ・正会員 116 (団体正会員 36 個人正会員 74)、賛助会員 6 (平成30年3月時点)
- ・会員データベース作成、利用希望者、活動希望者、各機関への情報提供 (承諾分)

②マスコミ等への情報提供

新聞・雑誌の取材、イベント情報記事掲載など

## II プロジェクト

### 1. 「広がれ、こども食堂の輪！全国ツアー開催支援およびネットワーク推進事業」

(赤い羽根福祉基金助成)

①「広がれ、こども食堂の輪！」推進委員会の開催

シンポジウム未開催地域での意識の共有、さらに開催を終えた地域での継続的なネットワーク支援を目的に、隣県も含めた関係機関と出会う場として推進委員会を開き、その中で小規模な学習会を開催。東京で全国エリアの連絡組織が集う場を年5回程度開催した。

②テキストの作成・配布

テキスト編集チームにて訪問調査と資料収集を行い、こども食堂の理念やノウハウの普及を図るためのテキストを作成した。作成したテキストは「広がれ、こども食堂の輪！」全国ツアーの開催地の他、都道府県市町村および同社会福祉協議会、全国民生委員民生委員を通じて単位民児協

に郵送することで、こども食堂に関心を持ってもらい、普及を図った。2万部印刷し、配布済。

③各地のシンポジウム開催支援（名称：「広がれ、こども食堂の輪！」全国ツアー）

各地のシンポジウムは独立採算が基本となるが、必要に応じて各地の大会に対して講師派遣（旅費交通費）を支援する。また、「広がれ、こども食堂の輪！」全国ツアー実行委員会作成の公式ホームページ（各地のシンポジウム開催概要・スケジュール等を掲載）を通じて広報する。

2月までに目標としていた47都道府県50か所で大会を開催し、のべ1万人が参加した。

④成果報告会の開催

3か年の事業成果を振り返り、今後の課題を子ども支援関係者と共有する場として、報告会を開催した。

日時：2019年3月9日（土）13：30～16：00

場所：立教大学 池袋キャンパス マキムホール MB01 教室（参加者100名）

⑤事務局の設置（相談窓口の開設）

職員1名および非常勤スタッフを雇用し、各地でのシンポジウム開催支援および連絡調整・相談対応、推進委員会や研修会の運営事務の他進捗管理を行う。

## 2. 「食の居場所を通じた多世代の健康づくり促進のための研修事業」

（厚生労働省健康局 地域の健康増進支援活動支援事業）

低栄養予防の食生活指針14条にある「共食」の機会を地域の中に生み出し、孤立・孤食防止を含めた多世代の健康づくりを促進するための従事者養成を目的とする。

具体的には、地域住民が主体で取り組む〈地域食堂・こども食堂、コミュニティ・カフェ、会食会、サロン活動、居場所、乳幼児から高齢者までを対象とする食育活動〉等の「食の居場所」推進に関わる団体および自治体等を対象に、研修会を行った。

・研修会の内容（東京、愛知、熊本）

食べることを通じて参加の場をつくり、幅広いライフステージの健康支援につなげている事例を取り上げ、栄養と食生活に関する講義や事例報告等を通して好事例を共有。

さらに、希望者を対象に活動視察を実施することで、活動者やこれから始めたい人への具体的な情報提供を行った。

## 3. 「地域住民の社会参加活動等を基盤とした互助促進の手法に関する調査研究事業」

（厚生労働省老健局 老人保健健康増進等事業）

高齢者など地域住民のボランティア参加促進に向けて、多様な参加の仕方ができる活動を地域に創出・継続している先駆的な好事例をもとに、住民参加型の支えあいサービスにおける活動の評価の枠組みを開発し、自治体や協議体、及びNPOなどが人材確保や多様な生活支援サービスの創出に向けて活用できる手引きを作成。

具体的には、生活支援サービスとして、食支援／移動支援／訪問によるサービス／居場所づくり／子ども食堂・地域食堂の5分野に着目し、全国の各市町村が生活支援サービスのためにどのような支援枠組み・連携体制を図っているかについてアンケート調査を行った。アンケート調査による実態把握のもと、訪問調査を通じた好事例を収集し、生活支援サービスの支援状況を明らかにした。研修会を3か所（東京、大阪、香川）で開催し、自治体・社会福祉協議会等の関係機関と活動支援のノウハウを共有した。得られた知見をもとに、自治体が支援を始める・続ける時

に着目してほしいチェックポイントを示したシートを提案し、支援の方策を取りまとめた（手引きおよび報告書ともに作成済）。

#### 4. 食支援活動に関する調査研究

（医療経済研究機構調査委託）

高齢者に対する食支援活動の実態を調査し、その推進策の研究を行う。在宅における高齢者の介護予防、重度化予防の見地から「食」の問題が注目されている。「食」に対する意欲を喚起するためには、外食や共食が重要であると言われており、様々な食支援活動が行われている。しかしながらまだまだ十分なものとはなっていないことから、その実態を調査するとともにその推進方策を研究した。

具体的には、先進的サービス団体・地域への訪問ヒアリング調査を 5 地域 6 団体に対し行った。高齢者や地域住民、また主催事業者の取り組みが高齢者の閉じこもり予防・地域コミュニティの活性化にどのように貢献しているかについて、活用のポイントをまとめ、関係向けに報告会を開催し、成果と課題を共有した。

#### 5. こども食堂拠点整備応援プロジェクト

（三菱電機 SR 記念募金）

①三菱電機 SR 記念募金を原資として、こども食堂を運営する団体を支援する。

子ども食堂の継続運営のための費用を 30 団体に助成（最大 20 万円）

対象とする項目…施設の修繕・改修費用、備品の購入、食材、会場使用料、開催周知のためのチラシ作成費、ボランティア保険料など

②対象範囲（人数、施設数、エリア等）

全国のこども食堂活動団体のうち、拠点をもち月 2 回以上こども食堂の活動を展開している・推薦状がある事等一定の基準を達成した活動団体へ寄付助成を行う。

【周知方法】ホームページ上での公募及び当法人のネットワーク団体や関係機関から継続支援につながる活動団体へ個別に声かけを行った。

#### 6. 「こども食堂あんしん手帖」制作プロジェクト

・こども食堂における食の安心安全を確保し、持続可能な運営に貢献するため、衛生、食物アレルギー、食育についての基礎知識や取り組み事例を盛り込んだ手引書を作成した。30 年 8 月に 3 万部を発行。全国の活動団体、都道府県市町村・政令市を通じて市区町村へ、同地域の社会福祉協議会、単位民児協他へ配布した。

#### 7. ケロッグ朝食提供支援プロジェクト

（日本ケロッグ社「Breakfasts for Better Days」プロジェクト協力(中央共同募金会との協働)）

年 2 回、各回約 60 団体の食支援団体を通じてケロッグ社の寄付物品を配布する。

周知方法：ホームページ上での公募、当法人の会員メール、案内を F A X 又は郵送、協力関係にある活動団体へ個別に声かけを行った。

対象：高齢者向け配食を行う 24 団体（1 団体平均 50 名）を通じて配布

高齢者向け会食会・多世代のこども食堂 36 団体を通じて配布

寄付物品：(1) オールブランフルーツミックス 1団体あたり 50 袋を 9月に寄贈  
(2) 玄米フレーク 1団体あたり 50 袋を 平成 31 年 3 月に寄贈  
計 6,000 袋

## 貸借対照表

2019年 3月31日 現在

一般社団法人 全国食支援活動協力会

(単位： 円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【流動資産】</b>	21,608,408	<b>【流動負債】</b>	8,711,301
現金・預金	17,828,408	未払費用	8,205,711
未収入金	3,780,000	預り金	5,590
		仮受金	500,000
		負債の部合計	8,711,301
		純資産の部	
		<b>【次期繰越金】</b>	12,897,107
		当期末処分利益	12,897,107
		その他利益剰余金	12,897,107
		繰越利益剰余金	12,897,107
		(うち当期純利益金額)	4,596,962
		純資産の部合計	12,897,107
資産の部合計	21,608,408	負債及び純資産合計	21,608,408

## 損益計算書

自 2018年 4月 1日  
至 2019年 3月31日

一般社団法人 全国食支援活動協力会

(単位： 円)

科 目	金 額	
<b>【活動収益】</b>		
助 成 金	12,700,000	
セ ミ ナ ー 収 入	349,000	
調 査 研 究 事 業 補 助 金	20,517,000	
委 託 料	5,346,000	
売 上 高 合 計		38,912,000
<b>【事業費用】</b>		
セ ミ ナ ー 事 業 費	441,518	
合 計	441,518	
売 上 原 価		441,518
売 上 総 利 益 金 額		38,470,482
<b>【活動運営費】</b>		
活動費及び一般管理費合計		38,840,508
営 業 損 失 金 額		370,026
<b>【活動外収益】</b>		
年 会 費	825,000	
寄 付	3,532,844	
雑 収 入	742,150	
受 取 利 息	106	
事 業 外 収 益 合 計		5,100,100
<b>【活動外費用】</b>		
支 払 手 数 料	133,112	
営 業 外 費 用 合 計		133,112
経 常 利 益 金 額		4,596,962
税 引 前 当 期 純 利 益 金 額		4,596,962
当 期 純 利 益 金 額		4,596,962

一般管理費内訳書

自 2018年 4月 1日  
至 2019年 3月31日

一般社団法人 全国食支援活動協力会

(単位： 円)

科 目	金 額
事務局 費	6,573,786
会議 費	371,624
通信 費	1,588,450
旅費 交通 費	7,650,497
委員 会 旅 費	1,177,440
消耗 品 費	264,243
印刷 製 本 費	7,529,306
事務 用 品 費	232,037
賃借 料	1,249,954
租 税 公 課	2,000
諸 謝 金	1,520,090
広 報 費	121,499
報 酬	748,500
雑 費	329,192
業 務 委 託 費	6,062,400
雑 役 務 費	3,419,490
活動費及び一般管理費合計	38,840,508

平成30(2018)年度 一般社団法人全国食支援活動協力会 収支計算書

収入の部			支出の部		
科 目	金額		科 目		金額
2017年度繰越金		8,300,145			
本部		3,600,100	本部運営費		4,869,731
会費	825,000		事務委託費	2,124,375	
寄付	1,809,644		通信費	218,327	
販売手数料	223,200		会議費	223,032	
雑収入	742,256		旅費交通費	1,168,681	
事業活動		44,812,000	消耗品費	234,165	
研修事業(全国セミナー)	349,000		資料費	69,010	
赤い羽根福祉基金 (広がれ子ども食堂の輪全国ツアー)	9,000,000		web関連費	63,288	
健康増進活動支援事業(健康局)	2,547,000		広報費	27,969	
老人保健健康増進等事業(老健局)	17,970,000		諸謝金	270,000	
子ども食堂あんしん手帖関連 キリン福祉財団	1,000,000		雑費	337,772	
キュービーみらいたまご財団	1,500,000		支払手数料	133,112	
他企業より	2,100,000		研修事業(セミナー)		441,518
みらいたまご財団助成事務委託	2,386,000		旅費交通費	151,240	
三菱電機SR記念募金助成事業	5,200,000		印刷製本費	36,900	
医療経済研究機構調査研究委託	2,160,000		諸謝金	110,000	
アサヒ飲料食フェスタ助成	600,000		会場費	106,890	
			通信運搬費	8,496	
			会議費	27,992	
			広がれ子ども食堂の輪全国ツアー(赤い羽根福祉基金) 事業・調査研究経費	7,104,640	9,010,048
			旅費	1,905,408	
			健康増進活動支援事業(厚労省健康局)		2,519,241
			謝金	469,490	
			賞金	400,000	
			旅費	1,211,437	
			使用料および賃借料	361,586	
			消耗品	22,242	
			会議費	38,009	
			印刷製本費	7,050	
			通信運搬費	9,427	
			老人保健健康増進等事業(厚労省老健局)		18,041,733
			報酬	748,500	
			賞金	1,730,011	
			諸謝金	314,400	
			旅費	3,892,155	
			消耗品費	82,060	
			会議費	89,358	
			印刷製本費	1,020,792	
			委託料	6,062,400	
			雑役務費	3,419,490	
			通信運搬費	170,367	
			使用料および賃借料	512,200	
			子ども食堂あんしん手帖制作・配布		3,376,866
			編集・デザイン委託	1,000,000	
			印刷製本費	2,069,280	
			発送費	307,586	
			医療経済研究機構調査委託		1,156,001
			諸謝金	466,200	
			旅費	648,956	
			調整費	40,845	
			三菱電機SR記念募金		4,400,000
			子ども食堂拠点整備寄付	4,400,000	
			予備費		12,897,107
		56,712,245			56,712,245

# 監事監査報告書

令和元年5月14日

一般社団法人全国食支援活動協力会  
代表理事 石田惇子 殿

監事

中島輝

監事

鶴澤章

私たちは、一般社団法人全国食支援活動協力会の平成30年4月1日から平成31年3月31日までの事業年度における理事の業務執行の状況及び財産の状況について監査をいたしました。その結果につき以下の通り報告いたします。

## 監査の方法の概要

私たちは理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査し、事業の報告を求めました。また、会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち、資金収支計算書（資金収支決算内訳表を含む）、事業活動収支計算書（事業活動収支内訳表を含む）、貸借対照表および財産目録につき検討いたしました。

## 監査の結果

- (1) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (2) 計算書類は、法令及び定款に従い、収支及び事業活動の状況並びに財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 事業報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不整の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

以上